

# 平成 28 年度 土木学会西部支部沖繩会 運営委員会・総会

日時：平成 28 年 6 月 16 日(木) 17 時 00 分～17 時 30 分  
場所：県立博物館・美術館

## 議 事 次 第

進行：事務局

### 1. 会長あいさつ

### 2. 審議内容

#### 【第 1 号議案】

##### 平成 27 年度報告（案）

- ① 平成 27 年度 事業報告（案） \_\_\_\_\_ P1
- ② 平成 27 年度 収支決算書（案） \_\_\_\_\_ P15

#### 【第 2 号議案】

##### 平成 28 年度事業（案）

- ① 平成 28 年度 主要事業計画（案） \_\_\_\_\_ P16
- ② 平成 28 年度 予算書（案） \_\_\_\_\_ P19

#### 【第 3 号議案】

##### 沖繩会会長及び会計監事の選出について（案） \_\_\_\_\_ P20

### 3. その他

#### 【参考資料】

- 参考 1 土木学会西部支部 沖繩会 規約 \_\_\_\_\_ P25
- 〃 2 土木学会会員（フェロー・正会員・学生会員）名簿 \_\_\_\_\_ P36
- 〃 3 沖繩会特別会員 B 名簿 \_\_\_\_\_ P38
- 〃 4 土木学会西部支部沖繩会役員名簿（平成 28 年度） \_\_\_\_\_ P39

## 平成27年度 事業報告(案)

1. 沖縄会運営委員会 (H27.7.14) 那覇市おもろまち 那覇市厚生会館 参加:17名(委任状含む)
2. 沖縄会定期総会 (H27.7.14) 那覇市おもろまち 那覇市厚生会館 参加:62名(委任状含む)
3. 講演会の開催  
講演会『地方強靱化と日本再生－沖縄への期待と役割－』(H28.6.16) 【次年度へ延期】  
【主催:沖縄会、(一社)沖縄しまたて協会】  
場 所:那覇市おもろまち 沖縄県立博物館・美術館
4. 技術研究発表会等  
土木学会西部支部沖縄会 第5回技術研究発表会 (H28.1.13) 参加:100名  
【主催:沖縄会】  
場 所:西原町 琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館
5. 広報活動
  - ①「橋の日」清掃活動 (H27.8.12) 県道11号線「真玉橋(那覇市)」清掃活動 参加:150名  
【主催:沖縄会、共催:琉球大学工学部環境建設工学科、琉球大学土木同窓会、内閣府沖縄総合事務局開発建設部、沖縄県土木建築部、琉大工学部土木学生】
  - ② 土木の日シンポジウム『激変する自然環境と土木』(H27.11.18)  
【主催:沖縄の土木技術を世界に発信する会】  
場 所:那覇市 パレット市民劇場  
参加者:約230名
6. 土木技術者の確保・育成の取組
  - ・人材確保・育成WG設置 (H28.1.27) 西原町 琉球大学 地域創生総合研究棟  
(WG活動内容及び今後のスケジュールについて意見交換を実施)
7. ホームページの管理、運営
  - ・各事業の取組に合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用  
【<http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html>】
8. 技術情報発信の強化の検討
  - ・沖縄会研究発表会論文の再分類を実施
  - ・沖縄会ホームページへ「津梁(沖縄の土木技術を世界に発信する会主催講演録)」をリンク
9. その他
  - 1 幹事会
    - ① 第一回幹事会 (H27.6.16) 沖縄県庁(12F) 参加者:18名(委任状含む)
    - ② 第二回幹事会 (H28.2.29) メールにて承認
  - 2 技術委員会等  
橋梁長寿命化小委員会 報告書取りまとめ

# 土木学会西部支部沖繩会 第5回 技術研究発表会

琉球大学 研究者交流会館・50周年記念会館

2016年1月13日

発表プログラム・概要集



土木学会西部支部沖繩会

## 会場案内



琉球大学西原口を入り、構内の信号を左に曲がり、左手すぐ。

○ 土木学会継続教育 (CPD) , CPDS 認定プログラム

# 発表プログラム

2016年1月13日

## Time Table

Start	End	プログラム
9:00	9:30	受付・CPD登録
9:30	9:50	開会式 (Room: A) 開会の挨拶: 柳橋 則夫 (沖繩協会会長・沖繩総合事務局次長) 実施要項の説明: 川崎 聡 (沖繩総合事務局)
9:50	10:00	Break
10:00	11:50	Session 1 (Room: A) 9編 (環境・計画関連) 座長: 琉球大学 神谷 大介 Session 2 (Room: B) 9編 (地震・防災関連) 座長: 沖繩総合事務局 高井 嘉親
11:50	13:00	Lunch
13:00	14:40	Session 3 (Room: A) 8編 (地盤関連) 座長: 沖繩しまたて協会 玉城 喜章 Session 4 (Room: B) 8編 (維持管理・防食関連) 座長: 琉球大学 富山 潤
14:40	14:50	Break
14:50	16:30	Session 5 (Room: A) 8編 (計測技術関連) 座長: 琉球大学 松原 仁 Session 6 (Room: B) 8編 (構造設計・診断関連) 座長: 沖繩県 津嘉山 司
16:30	17:00	Break (優秀発表者賞審査委員会)
17:00	17:20	閉会式 (Room: A) 優秀発表者賞の表彰: 矢吹 哲哉 (沖繩会副会長・琉球大学名誉教授) 閉会の挨拶: 末吉 幸満 (沖繩会副会長・沖繩県土木建築部長)

・1月13日 (水曜日)

Time	Room A	Room B
	<p><b>Session1: 計画・環境関連</b></p> <p>座長: 神谷 大介</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>我が国の路上駐車管理施策と規制の実効性に関する調査研究 9 北海道大学 草柳栄輔, 東海大学 梶田佳孝, 足利工業大学 篠瀬純彦</li> <li>那覇空港滑走路増設事業における環境保全～サンゴ移植～ 15 那覇港湾・空港整備事務所 那覇空港滑走路整備推進室 椎原康友, 前里尚</li> <li>航跡波による石垣港港湾内静穏度への影響について 21 内閣府沖繩総合事務局 石垣港湾事務所 富田和之, 奥那嶺和史</li> <li>沖繩県宮内武川公園における公園づくり～プラットフォーム戦略に基づく市民協働～ 25 沖繩県南部土木事務所 島袋寛之</li> <li>ゆいくるの材の環境に対する安全性の検討 31 (一財) 沖繩県建設技術センター 木田まゆ子</li> <li>二輪車事故を抑制するための対策 35 沖繩総合事務局南部国道事務所 交通対策課 小波津秋乃</li> <li>沖繩島二級河川を対象とした自然再生事業のための取水堰撤去の検討 39 琉球大学 辻本真希, 神谷大介, 山花一貴</li> <li>SITとしてのインフラソリューションと観光事業に関する基礎的考察 43 名城大学国際学群観光産業専攻 大谷健太郎</li> <li>地域防災計画の見直しにおける事前危険度評価の取り組み 47 中央建設コンサルタント 山中亮, 宮國敏秋, 嘉数勇也, 琉球大学 神谷大介, 琉球大学大学院 峰翔太</li> </ol>	<p><b>Session2: 地震・防災関連</b></p> <p>座長: 高井 嘉親</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>那覇港防波堤 (新港第一) の耐津波性向上について 54 那覇港湾・空港整備事務所 上地春奈</li> <li>沖繩県における最大クラスの津波に関する法律に基づく設定～ 58 ～津波防災地域づくりに関する法律による浸水想定 沖繩県土木建築高層海岸防災課海岸 高袋洋行, 瀬長雄二</li> <li>ネパールにおける組構造耐震構造物の震性向上に関する一検討 64 琉球大学 岩崎竜馬, 崎山将, 広瀬孝三郎, 松原仁, 藍置オメル</li> <li>サンゴ礁混じり土の液状化判定に関する基礎的研究 68 琉球大学 崎山将, 広瀬孝三郎, 岩崎竜馬, 松原仁, 藍置オメル</li> <li>GPS 観測データをを用いた日本列島における水平ひずみモニタリングシステムの構築 74 琉球大学 椎原靖真, 江戸考昭, 松原仁</li> <li>GPS による琉球諸島における地殻変動の観測とその評価 78 琉球大学 松田健太, 藍置オメル, 富山潤</li> <li>亜炭産地帯における 空洞充填効果の評価に対する動的モニタリング法とその適用 80 琉球大学 濱裕人, 藍置オメル, 富山潤</li> <li>石造遺跡の動態観測および固有振動特性に関する研究 84 琉球大学 阿津太, 藍置オメル, 渡嘉敷直彦, 富山潤</li> <li>古代都市AZANAOI における石積み橋の変形挙動解析及び 安定性評価に関する基礎研究 86 琉球大学 嘉陽田功平, 富山潤, 藍置オメル, 渡嘉敷直彦</li> </ol>
10:00		
11:50		

Time	Room A	Room B
	<p align="center"><b>Session3：地盤関連</b></p> <p align="right">座長：玉城 喜章</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ベントナイトベースト表面に発生する乾燥収縮亀裂のフラクタル次元解析——89 琉球大学大学院 広瀬孝三郎, 松原仁</li> <li>2. Sinkhole の形成シミュレーション——95 琉球大学 栗森雄一, 松原仁</li> <li>3. ベントナイトベーストの乾燥-湿潤サイクルがMudcrack および Mudblock に与える影響——99 琉球大学 沖崎拓也, 広瀬孝三郎, 松原仁</li> <li>4. 岩石およびモルタルの凍結融解作用に関する基礎的研究——103 琉球大学 松崎雅史, 吉次優祐, 富山潤, 藍置オメル</li> <li>5. 画像相関法を用いたベントナイトベーストに発生するMudcrack の評価——105 琉球大学 松本龍一, 広瀬孝三郎, 崎山将, 松原仁</li> <li>6. 噴砂の出現と過剰 間隙 水圧の関係に関する実験的検討——107 琉球大学 江崎壮太, 崎山将, 広瀬孝三郎, 松原仁</li> <li>7. 不連続面における多目的・動的せん断試験の開発と応用——111 琉球大学 坂下洋明, 藍置オメル, 富山潤</li> <li>8. 格子ボルトン法を用いた室内騒音場に関する数値解析的検討——113 琉球大学大学院 江戸孝昭, 松原仁, 原久夫</li> </ol>	<p align="center"><b>Session4：維持管理・防食関連</b></p> <p align="right">座長：富山 潤</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 完成後30年経過したダムの放流管内の塗膜について——120 沖縄総合事務局北部ダム管理事務所 安波波ダム管理支所 川田文彦, 中村喜広</li> <li>2. 沖縄地区鋼橋塗装マニュアルについて——126 沖縄総合事務局南部国道事務所 富山全浩, 一般社団法人沖縄しまたて協会 玉城喜章</li> <li>3. 橋梁下部工への電気防食技術の適用について——132 株式会社ホープ設計技術管理部 金田一男, 比嘉徹, 崎原盛伍, 靄泊宏</li> <li>4. 従来鋼橋におけるFRP スマートカバーの構造部材への応用——138 宮地エンジニアリング㈱ 大塚憲, 山下修平, 矢吹哲哉, 下里哲弘, 塚原雄介</li> <li>5. 腐食面に対する SmartZIC工法の適用性に関する研究 (その1：SZ工法の基本性能検証)——140 琉球大学 山城慶, 日和裕介, 下里哲弘, 有住康則, 榑横河ブリッジ 清川昇悟 (榑横河ブリッジホールディングス 井口進, 曾我麻衣子, 榑橋端城 東京フアブリック工業㈱ 木村雅昭)</li> <li>6. 腐食面に対するSmartZIC工法の適用性に関する研究 (その2：腐食面での成膜検討)——142 琉球大学 日和裕介, 下里哲弘, 有住康則, 榑横河ブリッジホールディングス 井口進, 曾我麻衣子, 榑橋端城, 木村雅昭, 清川昇悟, 東京フアブリック工業㈱ 木村雅昭, 榑橋端城</li> <li>7. ボルトキャップの紫外線劣化と疲労実験——144 琉球大学 白井慎之介, 下里哲弘, 有住康則</li> <li>8. Smart ZIC 工法を用いた腐食高力ボルトの防食性に関する実験的研究——146 琉球大学 井上昇良, 下里哲弘, 日和裕介, 有住康則</li> </ol>

Time	Room A	Room B
	<p align="center"><b>Session5：計測技術関連</b></p> <p align="right">座長：松原 仁</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海洋環境下で腐食した鋼管構造物における渦流計測法の適用性の検証——149 琉球大学大学院 塚原裕介, 下里哲弘, 有住康則, 電源開発株式会社 鷲尾朝昭, (有) TTS 中野裕二郎</li> <li>2. 振動特性に基づく劣化したコンクリート橋の健全性評価手法に関する基礎的研究——153 琉球大学 具志堅政典, 吉次優祐, 藍置オメル, 富山潤</li> <li>3. ワイヤ移動式橋梁点検ロボットの開発——155 (株)JTTS 勝山真規, 菅沼久忠, 八戸工業大学 長谷川明, 金子賢治, 藤澤隆介, 株式会社 長大 加藤雅彦, 川原将</li> <li>4. 照明柱の健全度評価に関する非破壊法の基礎研究——157 琉球大学 栗原伸弥, 富山潤, 藍置オメル, 渡嘉敷直彦</li> <li>5. アルカリシリカ反応のベシマム現象に関する数値解析的基礎的検討——159 琉球大学 布木男人, 富山潤, 藍置オメル, 吉次優祐</li> <li>6. 劣化したコンクリート橋梁の振動特性評価に関する基礎研究——161 琉球大学大学院 吉次優祐, 富山潤, 藍置オメル</li> <li>7. 沖縄県内陸部におけるフライアッシュコンクリートの中性化耐久性検討——163 (一財) 沖縄県建設技術センター 山城正吉, アール・アンド・エー 風間洋</li> <li>8. 土の粘性を考慮した圧密沈下量に関する研究——169 琉球大学 吉中淳, 宮城弘季, 原久夫</li> </ol>	<p align="center"><b>Session6：構造設計・診断関連</b></p> <p align="right">座長：津嘉山 司</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 沖縄都市モノレールにおける合成合理化軌道桁の採用について——176 沖縄県土木建築部都市モノレール建設事務所 安里智</li> <li>2. 「国際通り線シンボルロード整備事業」について——182 琉球県土木建築部 仲嶺智</li> <li>3. 那覇空港新滑走路進入灯橋梁基本設計——190 那覇空港・空港整備事務所 那覇空港新滑走路推進室 田中貴之, 前里尚</li> <li>4. 面給みつきボルト上の塗装用下地仕様に関する検討——195 琉球大学 高江洲秀仁, 下里哲弘, 有住康則, 荒巻 聡, 平原慎也, 藤本圭太郎</li> <li>5. 実験荷重試験による腐食した鋼1桁橋の耐力検証——197 琉球大学 高橋鴻, 下里哲弘, 有住康則</li> <li>6. 異なる減厚分布形状を有する鋼 桁のせん断耐力特性に関する研究——199 琉球大学大学院 園田政和, 下里哲弘, 有住康則, 玉城喜章</li> <li>7. 添接板の腐食表面形状に着目したすべり試験——201 琉球大学 奥嶋一世, 下里照弘, 有住康則, 宮地エンジニアリング 山下修平</li> <li>8. 実験した摩擦接触面の腐食特性とすべり係数——203 宮地エンジニアリング 山下修平, 下里哲弘, 有住康則, 奥嶋一世</li> </ol>

# 『橋の日』イベント

## 実施報告書

平成27年8月

主催：土木学会西部支部沖縄会

### 1. 「橋の日」活動の概要

8月4日は「橋の日」として、私たちの生活と文化に密接なかわりを持つ橋に感謝を込めて、橋の清掃活動を行っている。本活動は現在、全国47都道府県すべてに広がり、沖縄県では平成23年度以降連続開催し今年5回目を実施するものである。

### 2. 「橋の日」活動の目的

- ・橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ。
- ・橋に感謝し、橋とのふれあいの日にする。
- ・橋に感謝し、橋を大事にする心を育む。

### 3. 主催等

主催：土木学会西部支部沖縄会

### 4. 共催（参加協力）

- ：琉球大学工学部環境建設工学科土木コース（学生）
- ：琉球大学土木同窓会
- ：内閣府沖縄総合事務局開発建設部
- ：沖縄県土木建築部
- ：沖縄県土木建築部南部土木事務所
- ：（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会（測建協）

### 5. 活動内容

日付：平成27年8月12日（水）

時間：午前10時～12時まで

場所：真玉橋

集合：真玉橋公民館

内容：・真玉橋及び周辺の清掃

・学生による説明

・測建協の事前講座（育成WGの事前講座テストケース）

・橋のふしぎ探し（育成WGのテストケース）

### 6. 参加者

- ・豊見城市 どんご学童クラブ、とよみ学童ともだちクラブ
- ・琉球大学
- ・沖縄総合事務局開発建設部
- ・沖縄県土木建築部
- ・沖縄県土木建築部南部土木事務所
- ・琉球大学土木工学科・環境建設工学科土木同窓会
- ・（一社）沖縄県測量建設コンサルタンツ協会
- ・土木学会西部支部沖縄会 会員

7. 当日のスケジュール

時刻	内容	留意点
9:45	豊見城市 真玉橋公民館 集合	駐車場は国道329号中央分難帯 駐車場位置図参照
10:00	開会式	司会：川崎課長補佐
	開会あいさつ	矢吹 哲也（副会長）
10:05	真玉橋概要説明質疑応答	琉球大学学生
10:30	橋梁に関する講座	測建協
10:55	作業説明	沖縄会事務局（技術・建設業課） 作業範囲、注意点、「橋のふしぎ 探し」の説明
11:00	「橋のふしぎ探し」及び清掃 清掃を行わないから、橋のふしぎを探す 歩道部の 清掃 高欄のアーチ枠を磨く その他橋周辺でキレイになること	・道具は、事前に貸与 ・ごみ袋は透明なものを使用 ・ごみは、維持管理者が回収
11:15	作業終了～記念撮影～公民館へ移動	左岸・下流側に集合
11:25	「橋のふしぎ探し」発表及び解説	
11:45	学童クラブ 原董代表挨拶	感想など
11:55	閉会あいさつ	琉球大学土木同窓会長
12:00	昼食	昼食をとる。 琉球大学学生分 (弁当)

※挨拶、説明等の場所は真玉橋公民館とする。

8. 実施にあたっての役割分担等

(1) 費用負担

- ・土木学会西部支部沖縄会：昼食代  
保険（琉球大学の30名分、学童クラブ110名）
- ・琉球大学土木同窓会：Tシャツ代

(2) 役割分担

- ・実施計画書作成：土木学会沖縄会（技術・建設業課）
- ・記者発表：技術・建設業課
- ・昼食手配、保険の手続き：土木学会沖縄会（技術・建設業課）
- ・飲み物：土木学会沖縄会（技術・建設業課）
- ・Tシャツ準備：琉球大学土木コース学生
- ・マイク：南部土木事務所
- ・当日使用する道具：(3)に記載
- ・参加者募集等：各組織
- ・当日の司会：川崎課長補佐
- ・当日の監督係：南部土木事務所、琉大同窓会
- ・道路管理者への許可：南部土木事務所
- ・ゴミ処分：南部土木事務所から維持管理者者に依頼

(3) 当日用意するもの

担当	道具	数量
琉球大学	・ほうき、ちり取り、雑巾、軍手	人数に応じて適宜
沖縄県南部土木事務所	・軍手、ごみ袋、ゴミハサミ、クーラーボックス	人数に応じて適宜
琉球大学土木同窓会	・ほうき、バケツ8個、	人数に応じて適宜
沖縄会事務局 (技術・建設業課)	・雑巾、カメラ	人数に応じて適宜
参加者	・帽子、タオル、その他書き対策グッズ	各自で対応

9. 作業風景

- (1) 開会あいさつ、ならびに真玉橋についての紹介。
  - 司会を沖縄総合事務局長 川崎課長補佐が行い、開会のあいさつとして矢吹副会長による「橋の日」活動の目的および概要説明が行われました。
  - 「橋の日」の活動目的でもある「橋に感謝し、橋の歴史や構造を学ぶ」ため、琉球大学工学部環境建設工学科土木コースの学生による橋の説明、沖縄県測量建設コンサルタンツ協会の出前講座が行われました。



(2) 作業風景



今回はごみ拾いや草抜きなどの掃除をメインに行いました。当日は天候もよく、たくさんの方に参加いただけたため、短時間で効率よく作業を行えました。

(3) 閉会のあいさつ  
開会のあいさつとして、琉球大学土木同窓会長、ならびに参加児童代表からあいさつを頂きました。



(4) 記念撮影



## 激変する自然環境と土木

平成27年11月18日  
場所：パレット市民劇場

開会挨拶 \_\_\_\_\_ 2  
矢吹 哲哉 沖縄の土木技術の世界に発信する会 委員長

来賓挨拶 \_\_\_\_\_ 3  
柳橋 則夫 内閣府 沖縄総合事務局 次長

基調講演 \_\_\_\_\_ 6  
地球温暖化の予測、適応策、緩和策に関する最新の情報  
山田 正 中央大学理工学部 都市環境学科 教授

シンポジウムスナップ \_\_\_\_\_ 17

テーマ講演会 \_\_\_\_\_ 18

### 「激変する自然環境と土木」

座長・総括/藍檀オメル 琉球大学工学部 環境建設工学科 教授  
講演者/知念 浄 沖縄気象台 気象防災情報調整官  
岩男 忠明 沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理官  
伊禮 年男 沖縄県土木建築部 土木整備統括監  
仲宗根 斉 沖縄電力お客さま本部 取締役配電部長兼お客さま本部 副本部長

座長・講演者プロフィール \_\_\_\_\_ 49

「沖縄の土木技術の世界に発信する会」  
シンポジウム一覧・編集後記 \_\_\_\_\_ 50

司会/仲本紫野

## シンポジウムスナップ



## 技術研究発表会

(案) → ◎技術研究発表会 分類一覧表 (検索用エクセル) [資料P 1 1 参照]

<b>第5回 技術研究発表会</b> 開催日:2016年1月13日(水)	
場所:琉球大学 50周年記念館	
○ 投稿要領 投稿期間:11/20~12/18 17:00	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 執筆要綱	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム(2016.1.12 第5版)	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム・概要集 (2016.1.12 第5版)	<a href="#">PDFファイル(40MB)</a>
○当技術研究発表会は、土木学会継続教育(CPD)認定プログラムです。	
*PDFファイル、Wordファイルの保存は、右クリック『対象をファイルに保存』	

<b>第4回 技術研究発表会</b> 開催日:2014年10月30日(木)	
場所:琉球大学 50周年記念館	
○ 投稿要領 投稿期間:9/1~10/15 17:00	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 執筆要綱	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム (2014.10.29 第4版)	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム・概要集 (2014.10.29 第3版)	<a href="#">PDFファイル (41MB)</a>
○当技術研究発表会は、土木学会継続教育(CPD)認定プログラムです。	
*PDFファイル、Wordファイルの保存は、右クリック『対象をファイルに保存』	

<b>第3回 技術研究発表会</b> 開催日:2013年10月1日(火) 場所:琉球大学 50周年記念館	
○ 投稿要領	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 執筆要綱	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム (2013.9.29 第4版)	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム・概要集 (2013.9.29 第2版)	<a href="#">PDFファイル (50MB)</a>
○当発表会における土木学会継続教育(CPD)認定プログラムについて。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>●単位:5.5単位</li> <li>●受講証明書の発行料金:正会員・沖縄会会員は¥2,000(*)、非会員は¥7,000 *証明書発行を希望しない会員の発表会参加料は無料です。</li> <li>●CPDについて詳細は、<a href="#">こちら</a>をご確認ください</li> </ul>	
*PDFファイル、Wordファイルの保存は、右クリック『対象をファイルに保存』	

<b>第2回 技術研究発表会</b> 開催日:2012年9月25日(火) 場所:琉球大学 50周年記念館	
○ 投稿要領	<a href="#">PDFファイル</a>
○ 発表プログラム	<a href="#">2012.10.2版(最終) PDFファイル</a>
○ 発表プログラム・概要集	<a href="#">2012.10.2版(最終) PDFファイル(44MB)</a>
*PDFファイル、Wordファイルの保存は、右クリック『対象をファイルに保存』	

<b>第1回 技術研究発表会</b> 開催日:2011年10月4日 場所:琉球大学 50周年記念館	
○発表プログラム・概要集(10/24版)	<a href="#">Zipファイル(35.6MB) ダウンロード</a> <a href="#">PDFファイル(39.6MB)</a> <a href="#">開く</a>
○アンケート用紙	<a href="#">Wordファイル</a> <a href="#">開く</a>
○開催風景	<a href="#">PDFファイル</a>
*PDFファイル、Wordファイルの保存は、右クリック『対象をファイルに保存』	



以下の個別論文のpdfをホームページ上に保管し、エクセルの各論文名に各pdfファイルをリンクする。

Acrobat XI で開く 印刷 新しいフォルダ

名前	更新日時	種類	サイズ
2301.pdf	2016/04/14 14:41	Adobe Acrobat ...	723 KB
2302.pdf	2016/04/14 14:41	Adobe Acrobat ...	309 KB
2303.pdf	2016/04/14 14:41	Adobe Acrobat ...	736 KB
2304.pdf	2016/04/14 14:44	Adobe Acrobat ...	1,587 KB
2305.pdf	2016/04/14 14:44	Adobe Acrobat ...	653 KB
2306.pdf	2016/04/14 14:44	Adobe Acrobat ...	1,042 KB
2307.pdf	2016/04/14 14:44	Adobe Acrobat ...	638 KB
2308.pdf	2016/04/14 14:42	Adobe Acrobat ...	819 KB
2309.pdf	2016/04/14 14:42	Adobe Acrobat ...	979 KB
2310.pdf	2016/04/14 15:12	Adobe Acrobat ...	1,349 KB
2311.pdf	2016/04/14 15:12	Adobe Acrobat ...	1,195 KB
2312.pdf	2016/04/14 15:19	Adobe Acrobat ...	340 KB
2313.pdf	2016/04/14 15:19	Adobe Acrobat ...	321 KB
2314.pdf	2016/04/14 15:14	Adobe Acrobat ...	509 KB
2315.pdf	2016/04/14 15:14	Adobe Acrobat ...	1,179 KB
2316.pdf	2016/04/14 15:14	Adobe Acrobat ...	1,256 KB
2317.pdf	2016/04/14 15:14	Adobe Acrobat ...	1,011 KB
2318.pdf	2016/04/14 15:23	Adobe Acrobat ...	680 KB
2319.pdf	2016/04/14 15:23	Adobe Acrobat ...	2,624 KB
2320.pdf	2016/04/14 15:23	Adobe Acrobat ...	847 KB
2321.pdf	2016/04/14 15:23	Adobe Acrobat ...	840 KB
2322.pdf	2016/04/14 15:24	Adobe Acrobat ...	831 KB
2323.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	870 KB
2324.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	840 KB
2325.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	1,042 KB
2326.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	3,484 KB
2327.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	959 KB
2328.pdf	2016/04/14 15:25	Adobe Acrobat ...	829 KB
2329.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	1,373 KB
2330.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	1,068 KB
2331.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	597 KB
2332.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	308 KB
2333.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	571 KB
2334.pdf	2016/04/14 15:26	Adobe Acrobat ...	829 KB
2335.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	489 KB
2336.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	1,230 KB
2337.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	509 KB
2338.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	295 KB
2339.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	777 KB
2340.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	399 KB
2341.pdf	2016/04/14 15:31	Adobe Acrobat ...	852 KB
2342.pdf	2016/04/14 15:32	Adobe Acrobat ...	1,600 KB

更新日時: 2016/04/14 14:41 作成日時: 2016/04/14 14:41 オフラインの状態で: オンライン  
 bat Document サイズ: 722 KB オフラインで利用... 利用不可

レーザー変位計を用いた腐食鋼板の形状計測

琉球大学 ○島袋恵一、下里哲弘、有住康則

**1. はじめに**  
 近年、高度経済成長期や沖繩の本土復帰に建設された多くの構造物が、腐食による老朽化が生じているが、その腐食鋼材の性能評価には腐食鋼材を用いた静的引張試験、疲労試験などの基本的な強度評価が必要である。その強度評価には腐食鋼材の表面形状・板厚・腐食による偏心量を求める手法が求められている。  
 本稿では、実際の腐食鋼材から採取した腐食鋼材を用いて、レーザー変位計による表面形状と板厚の形状計測についての検討結果を述べる。

**2. 計測方法**  
**2-1 使用した鋼材**  
 検討には、健全鋼板1体、落橋後に回収した片面腐食鋼板2体、健全鋼板の中央部を削った鋼片1体の計4体を使用した。写真1から4にそれぞれ健全試験体A、腐食試験体B、腐食試験体C、健全鋼片中央削りを示す。

**2-2 使用した計測器具**  
 計測にはレーザー変位計とマイクロメータを用いた。レーザー変位計は、LIK-G80（基準距離：80mm、

写真1 健全試験体A  
 写真2 腐食試験体B  
 写真3 腐食試験体C  
 写真4 健全鋼片中央削り

図1 レーザー変位計による形状計測の原理図。図には、測定対象の鋼板（表面）とレーザー変位計の位置関係が示されています。Y軸とZ軸が示され、測定距離L1、L2、L3が示されています。また、鋼板の厚さTと、削り取られた部分の深さDも示されています。

## 委員会

### ○ 技術委員会

[土木学会西部支部沖縄会『技術委員会』設立趣旨](#)

### ○ 技術委員会「橋梁長寿命化技術小委員会」

・[平成23年度 小委員会活動報告](#)

・委員公募について \*公募終了しました

[設立要旨、応募要領など詳細はこちら](#)

公募期間: 設立～平成23年12月31日

(案) →

### ○ 沖縄の土木技術を世界に発信する会

・津梁(沖縄の土木技術を世界に発信する会主催講演録) [\[資料 P14参照\]](#)

[沖縄会のトップページに戻る](#)

沖縄の土木技術の世界に発信する会

❖ 沖縄の土木技術の世界に発信する会

本会は、国内では沖縄県にしかない亜熱帯性地域・海洋性・島しょ性等、自然条件を生かした土木建設技術のたゆまない研究と提案を行うことにより、沖縄建設産業の振興に寄与し、さらにこれらの成果を国際的視野に立って東南アジアをはじめ世界に向けて建設技術を発信することを目的に、平成8年10月17日に「沖縄の土木技術の世界に発信する会」を発足いたしました。

❖ シンポジウムの開催

毎年、「土木の日」関連行事として、沖縄の土木技術の世界に発信することをテーマとしたシンポジウムを開催しています。



開催日	案内チラシ	津梁
平成27年11月18日	<a href="#">第20回シンポジウム</a>	<a href="#">20号</a>
平成26年11月19日	<a href="#">第19回シンポジウム</a>	<a href="#">19号</a>
平成25年11月20日	<a href="#">第18回シンポジウム</a>	<a href="#">18号</a>
平成24年11月16日	<a href="#">第17回シンポジウム</a>	<a href="#">17号</a>
平成23年11月18日	<a href="#">第16回シンポジウム</a>	<a href="#">16号</a>
平成22年11月18日	<a href="#">第15回シンポジウム</a>	<a href="#">15号</a>
平成21年12月2日	<a href="#">第14回シンポジウム</a>	<a href="#">14号</a>
平成20年11月27日	<a href="#">第13回シンポジウム</a>	<a href="#">13号</a>
平成19年11月22日	<a href="#">第12回シンポジウム</a>	<a href="#">12号</a>
平成18年11月16日	<a href="#">第11回シンポジウム</a>	<a href="#">11号</a>
平成17年11月17日	<a href="#">第10回シンポジウム</a>	<a href="#">10号</a>
平成16年11月25日	<a href="#">第9回シンポジウム</a>	<a href="#">9号</a>
平成15年11月28日	<a href="#">第8回シンポジウム</a>	<a href="#">8号</a>
平成14年11月22日	<a href="#">第7回シンポジウム</a>	<a href="#">7号</a>
平成13年11月15日	<a href="#">第6回シンポジウム講演要旨</a>	<a href="#">6号</a>
平成12年12月2日	第5回シンポジウム	<a href="#">5号</a>
平成11年12月2日	第4回シンポジウム	<a href="#">4号</a>
平成10年11月26日	第3回シンポジウム	<a href="#">3号</a>
平成9年12月3日	第2回シンポジウム	<a href="#">2号</a>
平成8年11月22日	第1回シンポジウム	<a href="#">1号</a>

❖ 津梁(しんりょう)の発刊



「津梁(しんりょう)」は、「沖縄の土木技術の世界に発信する会」が実施したシンポジウムを冊子にまとめたものです。

❖ 幹事団体

沖縄の土木技術の世界に発信する会  
会長 矢吹 哲哉(琉球大学工学部教授)



「沖縄の土木技術の世界に発信する会」 幹事団体		
名称	住所	電話番号
<a href="#">琉球大学</a> 工学部環境建設工学科	〒903-0129 沖縄県西原町字千原1番地	098-895-2111
<a href="#">(財)沖縄県建設技術センター</a>	〒902-0064 沖縄県那覇市 寄宮1丁目7番13号	098-832-8442
<a href="#">一般社団法人</a> <a href="#">沖縄しまたて協会</a>	〒901-2122 沖縄県浦添市 勢理客四丁目18番1号	098-879-2097

## 平成27年度収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	平成27年度 予算額 (a)	平成27年度 決算額 (b)	差異(b)-(a)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(285,000)	△ 25,000	
①法人	310,000	285,000	△ 25,000	5000円*(62社→57社)
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	西部支部交付(世界に発信会へ)
(3)事業収入	(70,000)	0	△ 70,000	
①行事収入	70,000	0	△ 70,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	0	△ 70,000	講習会等(0回)
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	0	(66)	66	
①受取利息・配当金	0	66	66	銀行利子
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(405,066)	△ 94,934	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(513,000)	(229,992)	△ 283,008	
①講習会費	160,000	0	△ 160,000	講習会等(0回)
②研究発表会費	58,000	33,713	△ 24,287	記念品、バイト代等
③広報費	155,000	157,366	2,366	橋の日・土木の日
④現場見学会費	65,000	0	△ 65,000	
⑤その他、総会	75,000	38,913	△ 36,087	資料印刷、会場借上費等
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(38,844)	3,844	HP管理費、切手、郵送費等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	(548,000)	(268,836)	△ 279,164	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 48,000	136,230	184,230	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	0	0	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	0	0	0	
(2)特定貯金支出	0	0	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	0	0	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 48,000	136,230	184,230	
前期繰越収支差額(I)	354,335	354,335	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	306,335	490,565	184,230	

※会費未収分については、引き続き会費納入を依頼する。

# 平成27年度 監査報告書

平成27年度(一社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

平成28年 6月 9日

監査役 沖縄総合事務局開発建設部

企画調整官

神田 忠士



監査役 (一財)沖縄県建設技術センター 理事長

伊禮 年男



## 平成28年度 主要事業計画（案）

### 1. 土木学会西部支部沖縄会総会

#### (1) 企画内容等

年1回総会を開催する。

#### (2) 開催日時

平成28年6月16日

### 2. 講演会の開催

#### 企画内容等

#### ①平成27年度繰越事業

テーマ：地方強靱化と日本再生－沖縄への期待と役割－

開催日時：平成28年6月16日

#### ②平成28年度事業

テーマ：検討中

開催時期：年度内

### 3. 講習会等の開催

#### (1) 企画内容等

講習会（CPDS／CPD）等を開催する。

テーマ：橋梁長寿命化技術小委員会 報告

#### (2) 開催時期

調整中

### 4. 技術研究発表会等

#### (1) 企画内容等

沖縄会、沖縄総合事務局、沖縄県合同技術研究発表会を開催し、大学、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、より活性化を図る。年に1回開催する。

今後も活性化の方策について検討(その他の関係機関の合同開催への参加等)を行うとともに、合同開催に向けて会場、講演部門、発表時間、表彰基準、発表資格、審査員等について関係機関と必要な調整及び準備を進める。

#### (2) 開催日時

平成29年1月

#### (3) 開催場所

西原町 琉球大学

5. 広報活動

(1) 土木の日シンポジウム

- ・ 土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。
- ・ 開催日時：平成28年11月18日（予定）
- ・ 開催場所：那覇市 パレット市民劇場

(2) 橋の日イベント

- ・ 橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の歴史調査、清掃などを行う。
- ・ 開催日時：平成28年8月4日（予定）
- ・ 開催概要：沖縄本島中南部にて検討中（糸満高架橋、泊高橋、爬龍橋、御成橋 等）

(3) その他

6. ホームページの管理・運営

各種事業の取組に合わせて適宜情報を提供し、広報等に活用。

7. 現場見学会等

(1) 企画内容等

土木に親しみを持ってもらうために、国、県の大規模工事の現場で現地見学を実施する。親子での参加、又は学生（工業高校、大学生）を対象。

(2) 開催時期

平成28年7月～9月

(3) 開催場所

（仮）那覇空港滑走路増設事業（調整中）

8. 土木技術者の確保・育成について

人材確保・育成WGにおいて、土木技術者の確保・育成のための効果的な活動内容について、教育機関等と引き続き協議を行い実施方法について検討を進める。

平成28年度予算書(案)  
一 般 会 計

【第2号議案】-②

(単位:円)

収支科目	平成28年度 予算額(a)	平成27年度 予算額(当初)(b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(310,000)	(310,000)	0	
①法人	310,000	310,000	0	5000円 * 62社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(120,000)	0	
①ランチ支援金	120,000	120,000	0	支部交付金(発信する会へ)
(3)事業収入	(70,000)	(70,000)	0	
①行事収入	70,000	70,000	0	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	70,000	0	
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	(0)	(0)	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	(0)	(0)	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(500,000)	(500,000)	0	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(648,000)	(513,000)	135,000	
①講習会費	210,000	160,000	50,000	講演会、講習会 会場借上げ費等
②研究発表会費	58,000	58,000	0	会場借上げ費、記念品等
③広報費	185,000	155,000	30,000	橋の日・土木の日
④現場見学会費	120,000	65,000	55,000	バス借上げ費等(調整中)
⑤その他、総会	75,000	75,000	0	会場借上げ費等
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(35,000)	0	HP管理費、郵送費等
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出	0	0	0	
事業活動支出計(B)	(683,000)	(548,000)	135,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 183,000	△ 48,000	△ 135,000	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	(0)	(0)	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	(0)	(0)	0	
(2)特定貯金支出	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金支出	0	0	0	
投資活動支出計(E)	(0)	(0)	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 183,000	△ 48,000	△ 135,000	
前期繰越収支差額(I)	490,565	354,335	136,230	
次期繰越収支差額(H)+(I)	307,565	306,335	1,230	

## 沖縄会会長及び会計監事の選出について（案）

○沖縄会規約第12条によると役員の任期は2カ年と規定されていることから、規約第10条、第12条及び沖縄会会長選出申し合わせ事項に基づき、新役員の選任を提案する。

※現体制：【参考資料－4】

### 土木学会西部支部 沖縄会 規約(抜粋)

#### (役員の選任)

第10条 役員の選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

#### (役員の任期)

第12条 役員の任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

付則) 1. この規約は平成23年9月20日より施行する。

4. この規約は平成24年7月4日より施行する。

## 沖縄会会長選出に係る申し合わせ事項

- 第1条 会長は、原則として下記に掲げる機関から輪番で選出するものとする。
- ・琉球大学 工学部
  - ・内閣府 沖縄総合事務局
  - ・沖縄県
- 第2条 会計監事は、原則として運営委員機関から選出するものとする。
- 第3条 副会長は、第1条に掲げる機関のうち、会長が選出されていない機関から、会長が委嘱することを基本とする。
- 第4条 幹事長は会長を選出している機関から、会長が委嘱することを基本とする。
- 第5条 副幹事長は第1条に基づき輪番で次期会長が選出される予定の機関から、会長が委嘱することを基本とする。
- 2) 副幹事長所属の機関は総会・運営委員会・幹事会等に係る運営事務を担う。
- 付則) 1. 本申し合わせ事項は平成25年6月25日より施行する。

# 沖縄会役員輪番表(案)

	平成23年度～平成25年度	平成26年度～平成27年度	平成28年度～平成29年度
運営委員会			
会長	琉球大学 名誉教授 矢吹哲哉	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第1条より	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第1条より
副会長	内閣府 沖縄総合事務局 次長 尾澤 卓思	沖縄県 土木建築部 部長 申合せ事項 第3条より	琉球大学 教授 申合せ事項 第3条より
副会長	沖縄県 土木建築部 部長 當銘 健一郎	琉球大学 教授 申合せ事項 第3条より	内閣府 沖縄総合事務局 次長 申合せ事項 第3条より
会計監事	琉球大学 工学部 教授(会長選出機関) 有住 康則	沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官(会長選出機関) 神田 忠士	沖縄県 土木整備統括監(会長選出機関) 申合せ事項 第2条より
会計監事	沖縄県 測量建設コンサルタント協会(民間) 砂川 徹男	(一財)沖縄県建設技術センター 理事長(民間) 伊禮 年男	(一社)沖縄県建設業協会 会長(民間) 申合せ事項 第2条より
幹事会			
幹事長	琉球大学 工学部 准教授 下里 哲弘	沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長 申合せ事項 第4条より	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課長 申合せ事項 第4条より
副幹事長	沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長 新垣 哲	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課長 申合せ事項 第5条1より	琉球大学 申合せ事項 第5条1より
事務局	内閣府 沖縄総合事務局 技術管理課	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課 申合せ事項 第5条2より	琉球大学 申合せ事項 第5条2より

## 土木学会西部支部 沖縄会 役員名簿（案）（H28/6/16）

※赤字が新役員案 箇所

## ○ 運営委員会

役職等	氏名	所 属
会長	宮城 理	沖縄県 土木建築部 部長
副会長	矢吹 哲哉	琉球大学名誉教授
副会長	柳橋 則夫	内閣府 沖縄総合事務局 次長
会計監事	上原 国定	沖縄県 土木建築部 土木整備統括監
会計監事	下地 米蔵	(一社) 沖縄県建設業協会 会長
運営委員	有住 康則	琉球大学 工学部 教授
〃	中野 拓治	琉球大学 農学部 教授
〃	成瀬 英治	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 部長
〃	神田 忠士	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
〃	茂籠 勇人	防衛省 沖縄防衛局 調達部長
〃	池村 弘	(一社) 沖縄県測量建設コンサルタント協会 会長
〃	高良 保英	(一社) 沖縄しまたて協会 専務理事
〃	伊禮 年男	(一財) 沖縄県建設技術センター 理事長
〃	栗田 一昭	(一財) 港湾空港総合技術センター 沖縄支部長
〃	座波 博史	沖縄県港湾空港建設協会 会長
〃	与那嶺 恵伸	(一社) 日本道路建設業協会 沖縄支部長
〃	仲宗根 斉	沖縄電力(株) 送配電本部 取締役配電部長
〃	森 正明	西日本高速道路(株) 九州支社沖縄高速道路事務所 副所長
〃	中條 浩憲	(独) 都市再生機構 沖縄都市再生事務所 所長

## ○ 幹事会

役職等	氏名	所 属
幹事長	津嘉山 司	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課長
副幹事長	神谷 大介	琉球大学 工学部 准教授
幹事	新垣 哲	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長
〃	原 久夫	琉球大学 工学部 准教授
〃	下里 哲弘	琉球大学 工学部 准教授
〃	富山 潤	琉球大学 工学部 准教授
〃	安元 純	琉球大学 農学部 助教
〃	御園 只士	防衛省 沖縄防衛局 調達部 土木課長
〃	喜屋武 忠	(一社) 沖縄県建設業協会 理事
〃	神村 美州	(一社) 沖縄県測量建設コンサルタント協会 専務理事
〃	友寄 孝	(一社) 沖縄しまたて協会 技術環境研究所 技術環境部長
〃	徳原 兼二	(一財) 沖縄県建設技術センター 試験研究部長
〃	池原 興栄	(一財) 港湾空港総合技術センター 副支部長
〃	佐々木 秀尚	沖縄県港湾空港建設協会 副会長
〃	仲宗根 玄夫	(一社) 日本道路建設業協会 事務局長
〃	新垣 昌明	沖縄電力(株) 送配電本部 配電部 配電センター長
〃	兼重 寛	西日本高速道路(株) 九州支社沖縄高速道路事務所 統括課長
〃	上運天 一也	(独) 都市再生機構 沖縄都市再生事務所 主幹
〃	福原 八重二	(一社) 日本建設業連合会九州支部沖縄支所 支所長

## 土木学会西部支部沖縄会幹事会人材確保・育成 WG 活動報告

WG 名	人材確保・育成 WG	WG 長	神谷 大介	幹事長	徳原 兼二
活動予定期間	平成 27 年4月 ～ 平成 30 年 3 月				
活動目的	<p>沖縄県内における土木技術者の人材不足に鑑み、短期的・中長期的な人材確保・育成が必要である。このため、短期的には人材確保のための活動、中長期的には土木に興味・関心を持つ児童・生徒を増加させるための取り組みを行い、上記課題の解決に資することを目的とする。</p>				
メンバー構成	<p>琉球大学:神谷准教授(WG 長)、下里准教授、富山准教授                  (一財)沖縄県建設技術センター:試験研究部長(幹事長)                  沖縄総合事務局:技術管理官、技術管理課長                  沖縄県:技術・建設業課 建設業指導契約監                  (一社)沖縄県建設業協会:理事                  (一社)沖縄県測量設計コンサルタンツ協会:専務理事                  (一社)沖縄しまたて協会:技術環境研究所技術環境部長                  NEXCO 西日本(株):九州支社沖縄高速道路事務所統括課長                  (株)沖縄建設新聞:参与</p>				
活動報告	<p>1. 第 1 回人材確保・育成 WG 会議開催(平成 28 年 1 月 27 日)                  (1) WG 各機関の取り組み状況について                  WG 各機関における人材確保・育成に関する取り組み状況を報告。                  (2) WG 活動内容について                  人材・確保育成における課題、WG 活動内容等について、意見交換を行った。                  (3) 今後のスケジュール確認                  教育関係者にヒアリングを実施することを確認した。</p> <p>2. 教育関係者へのヒアリング(平成 28 年 5 月 18 日～31 日)                  球陽高校、普天間高校、名護高校、首里中学校の進路指導教諭等に土木関係への進学希望者や就職希望者が少ない原因、生徒へのアピール方法等についてヒアリングを実施。</p> <p>3. 第 2 回人材確保・育成 WG 会議開催(平成 28 年 6 月 3 日)                  (1)教育関係者ヒアリング結果報告                  教育関係者へのヒアリング結果を WG メンバーへ報告した。                  (2)今後の活動内容について                  前回会議及びヒアリング結果等を踏まえ、今後の活動内容を確認した。</p>				
今後の活動計画と目標 (平成 28 年度)	<p>1. 高校向け土木技術者 PR 用ポスター等の作成(8 月上旬案作成)                  ・機関毎にその特色を生かしたポスターを作成し、輪番制で掲示する。                  ・進路指導教員向け資料の作成</p> <p>2. 中学校職場体験(学校スケジュールによる:年末頃)                  ・現場の仕事、公務員の仕事、工場見学等の多彩な内容で実施する。                  ・複数社(機関)が連携して、一連の職場体験として行う。                  ・建設技術センターは、研修・実験的な内容で実施する。「コンクリートとはなんだ？」                  ・建設新聞等で実施内容を公表する。</p> <p>3. PTA 連合会へのヒアリング調査</p> <p>※WG は活動計画について実施方法等を検討し連携して進める。</p>				

## 土木学会西部支部 沖縄会 規約

### (名称)

第1条 本会は、土木学会西部支部沖縄会（以下「本会」という）といい、土木学会西部支部プランチ（分会）制度細則（平成23年7月25日制定）に基づくものである。

### (目的)

第2条 本会は、会員相互の土木技術の向上・研鑽・親睦交流、国際的視野に立った情報発信を行い、沖縄の自然・社会条件を踏まえた土木工学の発展と沖縄の振興および自立的発展に寄与することを目的とする。

### (事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う

1. 土木工学に関する研究発表会、講演会、見学会、視察等の実施
2. 土木学会活動の沖縄地域への普及・広報活動
3. 会員間の親睦に寄与する行事
4. 土木工学に関する図書、印刷物の刊行
5. 土木工学に関する奨励、援助
6. 土木工学教育及び土木技術者教育への支援
7. 土木関係資料の収集・保管・公開
8. その他本会の目標達成のために必要な事業

### (会員)

第4条 本会の会員は次の資格を有するもので構成する。

1. 正規会員
  - A 沖縄県内に在住するか又、県域内の土木工学にたずさわる土木学会正会員・フェロー会員・名誉会員
  - B 沖縄県内に在住する土木学会学生会員
2. 特別会員
  - A 沖縄県内に在住するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する個人
  - B 沖縄県内に在所するか又は、沖縄県内の土木工学にたずさわりの、本会の目的事業に賛同する団体特別会員は、入会后10年迄を原則とする。

### (入会及び会費)

第5条 特別会員に係る入会及び会費は次のとおりとする。

1. 特別会員になろうとするものは、土木学会西部支部沖縄会細則（以下「細則」という）で定めるところにより入会手続きを行い、幹事会の承認を得なければならない。
2. 特別会員は、細則（初年度は総会）において定める会費を納入しなければならない。
3. 既納の会費は返還しない。

### (退会)

第6条 特別会員で退会しようとする者は、所定の義務を完了した後、退会届を提出しなければならない。また、特別会員の団体構成員は特別会員の退会と同時に退会したと見なす。

## (除名)

第7条 会員が会（土木学会及び沖縄会）の名誉を傷つけまたは会の目的に反する行為をするに至ったときは、総会の議決によって当該会員を除名することができる。

特別会員の団体構成員は特別会員の除名と同時に除名とする。

## (会員資格の喪失)

第8条 前2条の場合のほか、会員は、次に該当するに至ったときは、その資格を喪失することができる。また、特別会員の団体構成員は特別会員の資格喪失と同時に資格喪失とする。

1. 第5条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。

## (役員)

第9条 本会に次の役員を置く。

1. 会長 1名
2. 副会長 2名
3. 会計監事 2名
4. 運営委員 若干名
5. 幹事長 1名
6. 副幹事長 1名
7. 幹事 若干名

- 2) 幹事長、副幹事長は運営委員と兼務することができるものとする。

## (役員を選任)

第10条 役員を選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

## (役員職務)

第11条 役員職務は次のとおりとする。

1. 会長は、会を代表し、総会及び運営委員会の議長となる。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある場合その職務を代行する。
3. 会計監事は、本会の会計監査を行い、総会に報告する。
4. 運営委員は、本会に関する重要な事項について、会長の諮問に応ずる。
5. 幹事長は、会長及び副会長を補佐し、会務を処理する。
6. 副幹事長は、幹事長を補佐し、必要に応じて幹事長の職務を代行する。
7. 幹事は、幹事長及び副幹事長とともに幹事会を構成し、幹事長及び副幹事長を補佐して会務を執行する。

## (役員任期)

第12条 役員任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

## (総会)

第13条 会長は、毎事業年度終了後、総会を開催し、また、必要に応じて臨時総会を開催する。

- 2) 総会の議長は、会長がこれに当たる。
- 3) 総会は、次の事項について決議する。
  1. 沖縄会の事業報告及び収支決算の報告
  2. 沖縄会の事業計画及び予算
  3. 沖縄会の規約等の制定及び改正
  4. 会長、会計監事の選任
  5. その他、沖縄会運営に関する重要事項
- 4) 総会は、沖縄会に所属する正規会員及び特別会員Bの1/20以上の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

## (運営委員会)

第14条 運営委員会は、会長、副会長、運営委員および会計監事をもって構成し、議長は会長がこれに当たる。

- 2) 運営委員会は、原則として年1回以上開催することとし、会長が招集する。
- 3) 運営委員会は、次の事項について決議する。
  1. 沖縄会の事業報告(案)、収支決算(案)
  2. 沖縄会の事業計画(案)及び予算(案)
  3. 会長候補者及び会計監事候補者の選出
  4. その他、沖縄会総会の権限に属するものを除く、沖縄会運営に関する基本的事項
- 4) 運営委員会は、運営委員の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

## (幹事会)

第15条 幹事会は、幹事長、副幹事長及びすべての幹事をもって構成し、議長は幹事長がこれに当たる。

- 2) 幹事会は、原則として年2回以上開催するものとし、幹事長が招集する。
- 3) 幹事会は、総会で承認された事業計画及び予算に基づき、会務を執行するとともに、年度途中で発生した会務運営に関する事項の具体策を検討し、実施する。
- 4) 幹事会の運営については、幹事会が別途運営細則を定める。
- 5) 幹事会は、幹事の過半数の出席をもって成立し、出席者の過半数の賛成で決議する。ただし、委任状を提出した者については、出席者とみなす。

## (委員会)

第16条 会長は、第3条の事業を行うために、次の委員会を設けるものとする。また、必要があるときは、原則として運営委員会の審議を経て、新たな委員会を設けることができる。

1. 沖縄の土木技術を世界に発信する会
2. 技術委員会
- 2) 各委員会は、会長が委嘱した委員長および委員によって構成する。
- 3) 各委員会の運営細則は、各委員会が別途定めるものとする。

## (事業報告、事業計画、収支決算及び予算)

第17条 本会の事業報告、事業計画、収支決算及び予算は毎年度の当初において幹事会で作成し

運営委員会の承認を得て総会に諮るとともに、土木学会西部支部幹事会に報告するものとする。また、西部支部からの支援を受けようとする事業については、西部支部幹事会の承認を諮るものとする。

（経費等）

第 18 条 本会の経費は特別会費を徴しこれにあてるほか、西部支部からの交付金、事業に伴う収入および協力金による。

（会計年度）

第 19 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

（事務所）

第 20 条 本会の事務所は浦添市勢理客 4 丁目 1 8 番 1 号、（一社）沖縄しまたて協会内に置く。

（規約の変更）

第 21 条 この規約は総会の決議を得なければ変更することが出来ない。ただし、軽微なものはこの限りでない。

（その他）

第 22 条 本会は土木学会定款、規則及び西部支部規定を遵守し活動を行うものである。

- 付則）
1. この規約は平成 23 年 9 月 20 日より施行する。
  2. 初年度は会長及び会計監事を総会で選任する。
  3. 初年度は特別会員 A、特別会員 B を総会で承認する
  4. この規約は平成 24 年 7 月 4 日より施行する。

## 土木学会西部支部 沖縄会 幹事会運営細則

## (総則)

第1条 この細則は、土木学会西部支部沖縄会規約(以下「本会」、「規約」という)第5条及び第13条の規定に基づき、土木学会西部支部沖縄会幹事会(以下「幹事会」という)の運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

## (目的)

第2条 本幹事会は、本会規約第3条に規定する沖縄会の事業、会務を円滑に執行するため、以下の活動を行う。

## (活動)

第3条 幹事会は、次の事項を遂行する。

1. 本会の事業計画(案)、収支予算(案)の作成。
2. 本会の事業報告(案)、収支決算(案)の作成
3. 土木工学に関する研究発表会、講演会に関すること。
4. 土木工学に関する見学会、視察等の実施。
5. 土木学会活動の沖縄地方への普及・広報活動。
6. 本部主催行事に関わる事項。
7. 他機関からの共催等に関する事項。
8. 本会員間の親睦に寄与する行事。
9. 本会ホームページの管理と運営に関すること。
10. 特別会員になろうとするものの審査・承認。
11. その他本会の目的達成のために必要な事項。

2) 幹事会は前項第3号、第5号、第11号に規定する事項を、「土木学会西部支部 沖縄会技術委員会」(以下「技術委員会」という)に委託することができる。

ただし、第11号の事項のうち、幹事長が幹事会に諮る必要があると判断した事項については幹事会において担うものとする。

(附則) 1. この細則規約は平成25年7月4日より実施する。

)

## 土木学会西部支部 沖縄会 細則

土木学会西部支部沖縄会（以下「本会」という。）の運営に関しては、土木学会西部支部沖縄会規約（以下「規約」という。）に定めるもののほか、この細則の定めるところによる。

### （特別会員A）

- 第1条 特別会員Aになろうとする個人（主として学生を想定）は、幹事会の承認を得なければならない。なお、個人会員は土木学会正会員となることが望ましく、入会后10年迄を目途に正会員になることを推奨する。
- 2 特別会員Aは総会での議決権は有しない。

### （特別会員B）

- 第2条 特別会員B（団体）になろうとするものは、幹事会の承認を得なければならない。
- 2 特別会員B（団体）の団体構成員は土木学会西部支部沖縄会の活動に参加することができる。ただし、団体構成員の氏名と所属等を登録する必要がある。なお、団体構成員は土木学会正会員となることが望ましく、入会后10年迄を目途に正会員になることを推奨する。
- 3 特別会員Bの総会での議決権は代表者1名のみが有する。

### （会費の納付等）

- 第3条 会費は、1事業年度（以下この条において「年度」という。）分前納とする。
- 2 年度途中で入会する者については、入会時に前納する当該年度分の会費を入会の翌月からの月割りによる額とすることができる。
- 3 1月から3月までの間に入会する者については、入会時に、前項の規定による会費に加え翌年度分の会費を前納するものとする。
- 4 既納の会費は返還しない。

### （会費の額等）

- 第4条 特別会員の会費は以下とする。ただし、特段の理由がある場合は、会費を免除することができる。なお、会費の変更は総会での議決を持って決定される。

特別会員A： 0円/年

特別会員B： 5,000円/年

平成24年7月4日 制定

沖縄会細則

## 土木学会西部支部 沖縄会 技術委員会 運営細則（案）

### （目的）

第1条 本技術委員会（以下「委員会」という）は、沖縄の自然・社会条件を踏まえた土木工学の発展と沖縄の振興および自立的発展に関する調査、研究および関連学協会との研究連携を行い、学術、技術の発展に寄与することを目的とする。

### （活動）

第2条 委員会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1) 沖縄県内の土木工学に関する調査、研究
- (2) 委員会活動に関する普及・広報活動
- (3) 関連学協会等との研究連携
- (4) その他目的達成のために必要な事項

### （常任機関）

第3条 本委員会は土木学会西部支部沖縄会 規約第12条に基づいて設置された常設委員会である。

### （構成）

第4条 委員会の構成は、次のとおりとする。

- (1) 組織構成
  - 1) 委員会の組織構成は、委員会、小委員会からなる。
  - 2) 小委員会の設置は、委員会での承認をもって設立する。
- (2) 構成員
  - 1) 委員会の構成員は、委員長、副委員長、委員、幹事（委員兼務）からなり、それぞれの職務は以下のとおりである。
    - ・委員長：委員会を代表し、委員会の活動を統括する。
    - ・副委員長：委員長を補佐するとともに、委員長不在時には委員長の代理を務める。
    - ・委員：委員会の活動を実施する。
    - ・幹事：委員長を補佐し、委員会事業を処理する。

### （委員長・委員等の選出方法と任期）

第5条 委員長・委員等の選出方法と任期は、次のとおりとする。

- (1) 委員長
  - 1) 委員長は、原則として委員会委員の互選により候補者を選出し、運営委員会の承認を得て、土木学会西部支部沖縄会会長（以下会長という）が委嘱する。

- 2) 委員長の任期は、１期２年とする。ただし、再任を妨げない。
- (2) 委員等（副委員長、委員、幹事）
  - 1) 副委員長・委員・幹事は、委員長の推薦によって、会長が委嘱する。
  - 2) 副委員長・幹事の任期は、１期２年とする。ただし、再任を妨げない。
  - 3) 任期の途中で交代した委員等の任期は、前任者の残余期間とする。

(運 営)

第6条 委員会の運営は、次のとおりとする。

(1) 委員会開催等

委員会は、原則として年１回、委員長の招集により開催する。ただし、委員長は必要に応じて委員会を臨時に開催することができる。また、文書をもって委員の意見を徴収、委員会開催に代えることができる。

(2) 小委員会の設置および事業報告

- 1) 委員会は、小委員会の設立申請に対する審議・承認を行う。
- 2) 委員会は、年度ごとに各小委員会から「事業報告」を受け、それを運営委員会に報告する。

平成23年12月5日 制定

## 土木学会西部支部沖縄会 謝金等の取扱いに関する内規

平成26年9月9日 制定

### （適用範囲）

**第1条** 土木学会西部支部沖縄会（以下「沖縄会」という。）が主催する講習会（講演会・工事報告会等を含む。）の謝金等の取扱いについては、原則として、この内規による。

### （目的）

**第2条** この内規は、沖縄会における謝金等の取扱いについて基準を定め、沖縄会業務の円滑な運営に資するとともに、経費の適正な支出を図ることを目的とする。

### （支給対象者）

**第3条** 謝金等を支給する対象者は、学生、自営業（フリーを含む。）の者及び所属する団体の勤務時間外（自ら休暇を取得した場合を含む。）である者とし、沖縄会役員が講習会の講師・司会・助手・通訳を行う場合は、原則として謝金等を支給しない。

また、謝金等を支給する対象者が謝金等を辞退した場合は、謝金等を支給しない。

### （謝金の額）

**第4条** 講師等に支給する謝金は、原則として別表-1の分野別職位等を参考として、標準単価の中から適宜選択する。

### 【別表－1】

(単位：円)

標準単価			分野別職位等			
区分	日額	時間単価	大学の職位	大学の職位にある者の平均勤続年数	民間	地方公共団体等
①	23,200	11,600	大学学長級	17年以上	会長・社長・役員級	知事・市町村長
②	20,000	10,000	大学副学長級			
③	18,000	9,000	大学学部長級			
④	16,200	8,100	大学教授級1	12年以上	工場長級	部長級
⑤	14,200	7,100	大学教授級2		部長級	—
⑥	12,400	6,200	大学准教授級		課長級	課長級
⑦	10,600	5,300	大学講師級	12年未満	課長代理級	室長級
⑧	9,400	4,700	大学助教・助手級		係長・主任級	課長補佐級
⑨	7,400	3,700	大学助手級以下		係員	課員

注)・謝金は税込み単価である。

- ・支払対象とする時間は、移動時間及び控え室等での待機時間を除いた講習会出席による実働時間とする。
- ・時間単価を適用する時間は2時間未満とし、それ以上の時間出席する場合は、原則として日額を適用する。
- ・時間単価を適用する場合の支払単位は1時間とし、端数については、30分未満は切り捨て、30分以上は切り上げとする。ただし、全体で30分未満の場合は1時間とみなす。
- ・沖縄会研究発表会の司会者はこれにあたらない。
- ・上記に当てはまらない場合は、幹事会で協議の上決定する。

### （執筆料）

**第5条** 沖縄会が主催する講習会等におけるテキスト用原稿の執筆料は、講師に対する謝金に含まれることとし、支給しない。

（挨拶）

第6条 沖縄会が主催する挨拶は、原則として、沖縄会役員が行うため、謝金を支給しない。

（支払い）

第7条 謝金の支払いについては、支給対象者から謝金等の領収証を事務所へ提出させることとし、領収書の宛先は「(公社)土木学会西部支部沖縄会」とする。

2 支給対象者には総額から所得税を引いたものを渡し、所得税分は事務所で必要な手続きを行う。

（内規の変更）

第8条 この内規の変更は、幹事会において行う。

附則（平成26年9月9日 幹事会議決） この内規は、平成26年9月9日から施行する。

## 土木学会西部支部沖縄会 旅費の取扱いに関する内規

平成26年9月9日 制 定

### （適用範囲）

**第1条** 土木学会西部支部沖縄会（以下「沖縄会」という。）の講習会、講演会等に伴い講師等が国内を旅行する場合に、沖縄会が当該講師等に支給する旅費については、原則として、この内規による。

### （旅費の構成）

**第2条** 旅費は、交通費、日当および宿泊費を支給する。

### （交通費）

**第3条** 交通費は、原則として、鉄道の旅客運賃、特急料金および指定席料金ならびに船舶の旅客運賃を路程に応じて支給する。ただし、片道30km以内の旅行については、交通費を支給しない。

2 鉄道の特急料金および指定席料金は、特急を運行する路線で、片道 100km以上を旅行する場合に支給する。

3 第1項にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、航空機の旅客運賃を支給することができる。支給額は実費とするが、上限は「ビジネスきっぷ」料金とする。

(1) 片道 1,000km以上を旅行する場合

(2) 沖縄本島及び沖縄県内離島を発着点または目的地とする場合

(3) その他、沖縄会が業務上必要と認める場合

### （日当）

**第4条** 日当は、別表－1に定める額を支給する。

### （宿泊費）

**第5条** 宿泊費は、沖縄会が業務上必要と認める場合のみ支給することができ、別表－1に定める額を支給する。

2 航空運賃及び宿泊費が必要な場合は、原則としてホテルパックを利用するものとする。

3 支給額は実費とするが、やむを得ずホテルパックの利用ができない場合も含め、支給額の上限は「ビジネスきっぷ」料金と別表－1の宿泊費の合計額までとする。

### （支払い）

**第6条** 旅費の支払いについては、支給対象者から旅費等の領収証を事務所へ提出させることとし、領収書の宛先は「(公社)土木学会西部支部沖縄会」とする。

### （内規の変更）

**第7条** この内規の変更は、幹事会において行う。

**附則**（平成26年9月9日 幹事会議決） この内規は、平成26年9月9日から施行する。

別表－1 日当・宿泊費

(単位：円)

区 分	日 当	宿 泊 費
講師等	2,200	8,500

## 土木学会 会員(フェロー・正会員・学生会員)名簿

NO	氏名	資格	勤務先名	備考
1	赤嶺 光秀	正会員	(株)トミコン	
2	新 一真	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
3	後仲筋 和彦	正会員	(株)南城技術開発	
4	有住 康則	正会員	琉球大学	
5	安藤 徹哉	正会員	琉球大学	
6	石川 孝司	正会員	大洋土木コンサルタント	
7	井田 光孝	正会員	(株)沖縄エネテック	
8	伊藤 顕一郎	正会員	清水建設(株)	
9	井島 聖也	学生会員	琉球大学	
10	井上 和也	正会員	(株)大林組	
11	伊良波 繁雄	正会員	琉球大学	
12	入部 綱清	正会員	琉球大学	
13	入部 綱崇	学生会員	琉球大学	
14	岩村 俊平	正会員	(株)エコー	
15	上江洲 安哲	正会員	(株)沖縄新エネ開発	
16	上野 裕稔	学生会員	航空自衛隊	
17	上原 哲哉	正会員	(株)大林組	
18	上原 方成	正会員	上原地盤工学研究所	
19	宇座 俊吉	正会員	琉球大学	
20	江戸 孝昭	学生会員	琉球大学	
21	大城 武	正会員		
22	大底 隆一	正会員	(資)沖土質コンサルタント	
23	大野 広志	正会員	清水建設(株)	
24	押川 渡	正会員	琉球大学	
25	小野 正博	正会員	内閣府	
26	親泊 宏	正会員	(有)ホープ設計	
27	風間 洋	正会員	アール・アンド・エー	
28	加藤 進	正会員	琉球大学	
29	金田 一男	正会員	(株)ホープ設計	
30	神谷 大介	正会員	琉球大学	
31	川間 重一	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
32	川満 榮	正会員	(株)大栄コンサルタント	
33	神田 康行	正会員	琉球大学	
34	菊池 昭男	正会員		
35	具志 幸昌	正会員	琉球大学	
36	具志 堅 吉孝	正会員	(株)日興コンサルタント	
37	久場 良秀	正会員	(独)	
38	久米 仁司	正会員	(株)南伸	
39	倉川 義弘	正会員	五洋建設(株)	
40	小波蔵 政良	正会員	(株)沖技	
41	小林 文男	正会員	(株)海邦技研	
42	呉屋 健一	正会員	沖縄県	
43	酒井 康司	学生会員	琉球大学	
44	酒井 洋一	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
45	坂巻 隆史	正会員	琉球大学	
46	崎原 康平	正会員	琉球大学	
47	崎原 盛伍	学生会員	琉球大学	
48	佐々木 秀尚	正会員	五洋建設(株)	
49	笹原 謙徳	正会員	沖縄県	
50	佐藤 泰夫	正会員	いであ(株)	
51	佐野 誠一	正会員	沖電開発(株)	
52	島袋 秀也	正会員	金秀鉄工(株)	
53	清水 浩美	正会員	清水建設(株)	
54	下里 哲弘	正会員	琉球大学	
55	庄司 優	正会員	沖縄企画開発(株)	
56	城野 裕介	正会員		
57	城間 敏夫	正会員	(株)南城技術開発	
58	新城 俊也	フェロー	琉球大学	
59	朱雀 和彦	正会員	八千代エンジニアリング(株)	

## 土木学会 会員(フェロー・正会員・学生会員)名簿

NO	氏名	資格	勤務先名	備考
60	鈴木 康治	正会員	鹿島建設(株)	
61	鈴木 修二	正会員	内閣府 沖縄総合事務局	
62	砂川 章次	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
63	砂川 徹男	正会員	(株)沖縄建設技研	
64	瀬戸内 秀規	正会員	琉球大学	
65	竹田 義徳	正会員	鹿島建設(株)	
66	玉城 喜章	正会員	(一社)沖縄しまたて協会	
67	知念 正昭	正会員	その他	
68	津嘉山 正光	正会員	琉球大学	
69	筒井 茂明	正会員	琉球大学	
70	通事 善則	正会員	竹富町	
71	當山 清巳	正会員	今帰仁村	
72	渡嘉敷 直彦	正会員	琉球大学	
73	渡久山 盛幸	正会員	(株)レキオコンサルタント	
74	所 宏祐	学生会員	琉球大学	
75	利光 崇明	学生会員	琉球大学	
76	富山 潤	正会員	琉球大学	
77	仲座 栄三	正会員	琉球大学	
78	中野 拓治	正会員	琉球大学	
79	中村 哲也	正会員	(株)沖縄プランニング	
80	中山 貴喜	学生会員	琉球大学	
81	西里 好文	正会員	(株)アジア技研	
82	西銘 稔	正会員	(有)琉興建技コンサルタント	
83	新田 宗一	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
84	原 久夫	正会員	琉球大学	
85	比嘉 清	正会員	(株)翔土木設計	
86	比嘉 定喜	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
87	広瀬 孝三郎	学生会員	琉球大学	
88	福島 新	正会員	日本工営(株)	
89	福原 八重二	正会員	大成建設(株)	
90	藤澤 友晴	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
91	淵脇 秀晃	正会員	琉球大学	
92	榊田 一希	学生会員	琉球大学	
93	松浦 葵	学生会員	琉球大学	
94	松原 仁	正会員	琉球大学	
95	松本 駿輝	学生会員	琉球大学	
96	三島 英将	正会員	清水建設(株)	
97	宮城 敏明	正会員	(株)沖縄建設技研	
98	宮城 幸雄	正会員		
99	宮国 敏秋	正会員	(株)中央建設コンサルタント	
100	望月 博司	正会員	(株)国建	
101	諸見里 朋子	正会員	一般社団法人沖縄しまたて協会	
102	安元 純	正会員	琉球大学	
103	矢吹 哲哉	フェロー	琉球大学	
104	山内 修	正会員	(株)大米建設	
105	山城 多持	正会員	(株)レキオコンサルタント	
106	山田 尊貴	学生会員	琉球大学	
107	山田 義智	正会員	琉球大学	
108	与儀 喜章	正会員	(株)沖縄建設技研	
109	吉田 延雄	正会員	内閣府(沖縄総合事務局)	
110	與那原 利行	正会員	(資)進藤土質調査	
111	与那嶺 満	正会員	応用地質(株)	
112	米藏 敏博	正会員	(株)翔土木設計	
113	米嶋 修平	正会員	北斗設計(株)	
114	渡邊 忠尚	学生会員	琉球大学	
115	渡辺 康志	正会員	(有)モアイ	
116	和仁屋 晴謹	正会員		
117	RAHMAN MD MOSTAFIZUR	学生会員	琉球大学	

### 沖縄会特別会員B名簿(団体会員含む)

番号	会社名	代表者	会員数	備考
1	(一財)港湾空港建設総合技術 センター沖縄支部	支部長 栗田 一昭	2	
2	(独)都市再生機構 沖縄都市再生事務所	所長 中条 浩憲	2	
3	西日本高速道路(株)九州支社 沖縄高速道路事務所	副所長 森 正明	2	
4	(一社)日本道路建設業協会 沖縄支部	支部長 与那嶺 恵信	2	
5	(株)東京鐵骨橋梁 沖縄営業所	沖縄営業所長 志喜屋 一陽	2	
6	(株)ピーエス三菱 沖縄営業所	沖縄営業所長 赤嶺 文繁	2	
7	(株)大本組 沖縄営業所	所長 鍋島 委己	3	
8	前田建設工業(株)九州支店 沖縄営業所	所長 若林 昭彦	1	
9	佐藤工業(株) 沖縄営業所	営業所長 梶原 仁	1	
10	(株)安部日鋼工業 沖縄営業所	営業所長 国吉 正哉	1	
11	極東興和(株) 沖縄営業所	所長 比嘉 盛夫	1	
12	東急建設(株) 沖縄営業所	所長 小園 幸広	1	
13	(株)鴻池組 沖縄営業所	所長 鮫島 秀憲	2	
14	東亜建設工業(株)	所長 町田 喜代寿	2	
15	(株)小波津組	代表取締役社長 小波津 英正	18	
16	(株)フジタ 沖縄営業所	所長 林 五一郎	1	
17	(一財)沖縄県建設技術センター	理事長 伊禮 年男	3	
18	川田工業(株) 沖縄営業所	所長 比嘉 智	1	
19	(株)大林組 九州支店 沖縄営業所	所長 井出 直喜	2	
20	東洋建設(株) 沖縄営業所	所長 堀井 洋佑	2	
21	琉球開発(株)	社長 宮城 久雄	2	
22	鹿島道路(株) 沖縄営業所	所長 岩切 雅俊	1	
23	西松建設(株) 沖縄営業所	所長 吉田 卓生	1	
24	(株)大米建設	社長 下地 米蔵	2	
25	(株)高橋土建	代表取締役社長 赤嶺 栄	2	
26	(株)大城組	代表取締役社長 花城 一郎	2	
27	若築建設(株)	所長 吉瀬 高志	1	
28	仲程土建(株)	代表取締役社長 仲程 俊郎	1	
29	ドービー建設工業(株) 沖縄営業所	沖縄営業所長 金城 徹也	2	
30	コアアツ工業(株)	沖縄営業所長 友利 和隆	1	
31	飛鳥建設(株) 沖縄営業所	沖縄営業所長 長谷部 聡	1	
32	(一社)沖縄県建設業協会	会長 下地米蔵	2	
33	(一社)沖縄県測量建設コンサルタンツ協会	会長 池村 弘	2	
34	(株)大寛組	代表取締役 大濱 均	1	
35	一般社団法人 沖縄しまたて協会	理事長 白波瀬 正道	4	
36	沖縄電力(株)	取締役配電部長 仲宗根 斉	2	
37	沖縄県港湾空港建設協会	会長 座波 博史	2	
38	(株)富士ビー・エス沖縄営業所	所長 大城 敦	1	
39	(株)TTES	代表取締役 菅沼 久忠	1	
40	(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 九州支部	九州支部長 長尾 徳博	2	
41	川田建設工業(株) 沖縄営業所	所長 渡久地 政胤	1	
42	五洋建設(株) 九州支店 沖縄営業所	所長 佐々木 秀尚	1	
43	宮地エンジニアリング(株) 沖縄営業所	営業所長 村島 康文	1	
44	(株)中央建設コンサルタント	代表取締役 砂川 秀樹	2	
45	(株)沖縄環境保全研究所	代表取締役 平良 辰二	2	
46	株式会社 沖 技	代表取締役社長 照屋 義明	14	
47	株式会社 ナカボータック 沖縄営業所	所長 大嶺 正	2	
48	オリエンタル白石株式会社 沖縄営業所	所長 金城 清	2	
49	牧港建設(株)	代表取締役 平良 平長	1	
50	南洋土建(株)	代表取締役社長 比嘉 森廣	14	
51	株式会社ウイング総合設計	代表取締役 宮城 良博	12	
52	株式会社 技建	宮野 伸介	12	
53	(株)南城技術開発	代表取締役 城間敏夫(土木学会正会)	14	
54	沖縄ビーシー(株)	代表取締役社長 譜久島哲三	4	
55	永技研株式会社	代表取締役社長 前里 幸三	5	
56	横川ブリッジ	所長 真喜志 一寛	1	
57	NPO法人グリーンアース	代表理事 鈴木 浩一	4	
58	株式会社 プラズワイヤー	代表取締役社長 北古賀 功	2	
59	株式会社安藤・間 沖縄営業所	営業所長 加藤慶三	3	
60	(株)仲本工業	代表取締役 仲本 豊	2	
61	琉球セメント株式会社	代表取締役社長 西村 聡	2	
62	株式会社沖縄建設新聞	代表取締役社長 古謝 昇	1	
		小計	186	
	防衛省 沖縄防衛局	調達部長 茂籠 勇人	2	行政委員
	沖縄県 土木建築部	沖縄県 土木建築部長 宮城 理	5	行政委員
	沖縄総合事務局 開発建設部	沖縄総合事務局 次長 柳橋 則夫	5	行政委員
		小計	12	
		合計	198	

## 平成28年度 土木学会西部支部 沖縄会 役員名簿 (H28/6/1)

## ○ 運営委員会

役職等	氏名	所 属
会長	柳橋 則夫	内閣府 沖縄総合事務局 次長
副会長	宮城 理	沖縄県 土木建築部 部長
副会長	矢吹 哲哉	琉球大学名誉教授
会計監事	神田 忠士	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
会計監事	伊禮 年男	(一財)沖縄県建設技術センター 理事長
運営委員	有住 康則	琉球大学 工学部 教授
〃	中野 拓治	琉球大学 農学部 教授
〃	成瀬 英治	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 部長
〃	茂籠 勇人	防衛省 沖縄防衛局 調達部長
〃	上原 国定	沖縄県 土木建築部 土木整備統括監
〃	下地 米蔵	(一社)沖縄県建設業協会 会長
〃	池村 弘	(一社)沖縄県測量建設コンサルタント協会 会長
〃	高良 保英	(一社)沖縄しまたて協会 専務理事
〃	栗田 一昭	(一財)港湾空港総合技術センター 沖縄支部長
〃	座波 博史	沖縄県港湾空港建設協会 会長
〃	与那嶺 恵伸	(一社)日本道路建設業協会 沖縄支部長
〃	仲宗根 斉	沖縄電力(株) 送配電本部 取締役配電部長
〃	森 正明	西日本高速道路(株)九州支社沖縄高速道路事務所 副所長
〃	中條 浩憲	(独)都市再生機構 沖縄都市再生事務所 所長

## ○ 幹事会

役職等	氏名	所 属
幹事長	新垣 哲	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長
副幹事長	津嘉山 司	沖縄県 土木建築部 技術・建設業課長
幹 事	下里 哲弘	琉球大学 工学部 准教授
〃	原 久夫	琉球大学 工学部 准教授
〃	富山 潤	琉球大学 工学部 准教授
〃	神谷 大介	琉球大学 工学部 准教授
〃	安元 純	琉球大学 農学部 助教
〃	御園 只士	防衛省 沖縄防衛局 調達部 土木課長
〃	喜屋武 忠	(一社)沖縄県建設業協会 理事
〃	神村 美州	(一社)沖縄県測量建設コンサルタント協会 専務理事
〃	友寄 孝	(一社)沖縄しまたて協会 技術環境研究所技術環境部長
〃	徳原 兼二	(一財)沖縄県建設技術センター 試験研究部長
〃	池原 興栄	(一財)港湾空港総合技術センター 副支部長
〃	佐々木 秀尚	沖縄県港湾空港建設協会 副会長
〃	仲宗根 玄夫	(一社)日本道路建設業協会 事務局長
〃	新垣 昌明	沖縄電力(株)送配電本部 配電部 配電センター長
〃	兼重 寛	西日本高速道路(株)九州支社沖縄高速道路事務所統括課長
〃	上運天 一也	(独)都市再生機構 沖縄都市再生事務所 主幹
〃	福原 八重二	(一社)日本建設業連合会九州支部沖縄支所 支所長